なぎさこども園における自己評価・自己点検

調査期間　R8.2.2～2.9まで　　令和7年度 集計

※本年度の本園における保育を総合的に評価し、次年度の保育計画に生かせる方向で記入してください。

〔記入方法〕

・A，B，C，Dの4段階評価です。該当する欄に〇をつけてください。
・項目ごとに、意見・改善策を記述してください。

A ： たいへんよい
B ： よい
C ： 一部検討を要する
D ： 改善を要する

項　目

◎ 教育・保育計画の編成と実施に関する評価

理念や基本方針は、幼保連携型認定こども園の教育・保育に対する考え方や姿勢を示すものです。これが明確にされていることによって、職員は自らの業務への意識付けや子どもへの接し方、教育・保育サービスに対する具体的な取組みを行う事が出来るようになります。また、実践する保育サービスを保護者等に分かり易く伝えることが保育所に対する安心感や信頼を与えることにもつながります。

項　目	内　　容	評　価				意見・改善策
		A	B	C	D	
教育・保育課程・目標について	(1)教育・保育課程の具体化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	〇				子供の成長に合わせた保育をリーダーをはじめ、担任間で話し合うことが出来ている
	(2)教育・保育課程は、各施設や地域の特色を生かしているか。		〇			地域の祭りに参加したり、小学校行事に参加している
	(3)保育課程・目標は、社会の要請や保護者の意向を考慮し、作成しているか。	〇				
	(4)課程・目標は、前年度を生かしているか。	〇				安全対策や感染症対策等様々なことを行っていたり保護者アンケートを取るなどして保護者の意見も聞いている
	(5)教育・保育課程・目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。		〇			会議等行われている
教育・保育について	(1)計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	〇				子どもたちの成長に合わせた保育を行なっている
	(2)教育・保育要領に基づく援助・支援を適切に行っているか。	〇				
	(3)環境構成を意識した教育・保育や過程を常に工夫しているか。	〇				担任間で話し合い環境をその都度工夫している
	(4)素材・用具を適切に使用しているか。	〇				会議等で反省点、良かった点を振り返っている
	(5)評価結果をもとに教育・保育の改善に努めているか。	〇				
日時程	(1)一日の流れ(デイリープログラム)は現行でよいか。	〇				流れは適宜見直しは必要
行事について	(1)行事の種類や実施回数は適切か。		〇			大きな行事は、反省をまとめてあるため、次年度にも活かせるが、反省や写真が残っていないものは、前年度の担当者の記憶を頼りにすることが多かった。育休や退職によって、担当者が継続しなくても引き継ぎできるような資料(行事計画書提出後、気付きを赤ペン追加記載する、言葉で伝わりにくいものは写真を残す)を作成するとより良くなると感じる
	(2)行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	〇				
	(3)乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的に活動にしているか。	〇				
	(4)計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	〇				
	(5)保護者の願いや意見を取り入れているか。	〇				意見を取り入れすぎだと思う

◎保育環境と教育・保育内容に関する評価

幼保連携型認定こども園は、子どもたちが心地よく過ごす生活の場にふさわしい環境を整えていくことが大切です。様々な面から保育環境を整備し、子どもたちが園で快適に過ごせる様に配慮すること。教育・保育内容については、子ども一人ひとりのへの理解を深め、受容することが基本です。様々な保育の取り組みがありますが、まず、子どもと保護者の人権を尊重した上で、子ども一人ひとりの家庭環境、身体能力、精神成長の違いを把握して保育をすすめることが大切です。

項　目	内　　容	評　価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育環境について	(1)園内の清掃がなされ、清潔に保たれ、子どもが心地よく過ごせるように配慮している。	○				倒れやすい棚、鍵がうまくかからない扉、仕切りたくてもパーテーションが足りないところなどがあるため、改善されると良い。 殆どの子ども達が給食を食べ終わり、後から来た子どもとの会話の声が大きく、指摘を受け、よちてくのお昼寝中の子への配慮が欠けていたと反省しました。 玩具の破損や紛失には早めに対処したほうがいい。壊れたものや揃っていないものでは遊びの楽しさや満足感が得られないと思う。
	(2)室内外の衛生面・安全面に配慮している。	○				
	(3)生活の場にあった保育者の声、音楽など音に配慮している。	○				
	(4)各保育室に子どもたちの発達や興味関心にあった遊具がいつでも手に取れるように配置している。	○				
	(5)室内に子どもたちが、季節感を味わえるような工夫をしている。	○				
教育・保育内容について	(1)子どもに分かりやすい温かな言葉使いで、穏やかに話している。		○			
	(2)子どもの要求や訴えに対して、子どもの気持ちを受けとめ、状況に応じて適切な対応をしている。	○				
	(3)基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	○				
	(4)子どもの様々な活動を自由に体験できるような環境の整備がされている。	○				
	(5)生活や遊びを通して、数・量の感覚が身につくよう工夫している。		○			
	(6)散歩や行事などで、子どもたちが主体的に地域の人に接する機会を作っている。		○			地域の人と接する機会の大切さが職員間で以前より薄れてると感じる
	(7)様々な素材を使って、描いたり、作ったり、自由に表現できるように配慮されている。	○				
	(8)身体を使った様々な表現遊びが取り入れられている。		○			製作的な活動は多いが身体表現の活動は幼児期の運動機能の発達には重要なのでもっと取り入れて良いと思う。
	(9)絵本の読み聞かせや紙芝居などを積極的に取り入れている。	○				
	(10)ケンカの場面では、危険のないように注意しながら子どものプライド、自立性を尊重し、子どもたちの同士で解決するように援助している。	○				子どもたちに任せる時の基準やり方が難しいと、感じる時がある
	(11)順番を守るなど、社会的ルールを身につけていくように配慮している。	○				
	(12)広く社会性が身につくよう、異年齢の子どもたちや様々な年齢層の人たちと交流している。	○				

◎教育・保育の計画と実施を支える諸条件に関する評価

幼保連携型認定こども園の機能や役割が増す中で、組織の一員として今以上にその役割をしっかり担うことが求められています。また、教育・保育要領の中では、幼保連携型認定こども園を運営するための施設長の役割が大きく、常に園の運営などの課程を自覚し、日頃から研鑽に努める必要があります。

項目		内容	評価				意見・改善策
			A	B	C	D	
経営・組織	分掌・体制	(1)能動的、合理的な運営組織になっているか。		○			クラスよって休憩時間に差があることや、フリーの時間を使って子育て支援の担当業務を行わざるを得ない場合があることに疑問を感じる。
		(2)職務内容が明確で、共同できる体制になっているか。	○				
		(3)職員の配置は適材・適所か。		○			
		(4)係や仕事の分担・割り当ては適切か。	○				
		(5)教育・保育の質の向上や改善のための取組みについて、意図的・計画的に実施している。	○				
	運営	(1)各種会議を適切かつそれぞれ全体的立場を理解し協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。	○				リーダー会やサブリーダー会や、各行事の会議についての開催理由は納得するところがあるが、そのほかの会議についてはあまり合理的でない会議もあるように思う。 以前よりも内容を吟味して予習して会議にのぞんでおり、全体的によくなってきていると思う。
		(2)打合せの回数、時間、内容は適切か。		○			
		(3)運営改善の課題について把握し、計画的な取組みにを行うとともに、定期的に検証、見直しをしている。	○				
	施設長の役割	(1)施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明している。	○				
		(2)施設長は、質の向上に意欲を持ちその取組みに指導力を発揮している。	○				
	クラス経営	(1)クラスの目標は、教育・保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	○				
		(2)個人別・クラスの目標は、乳幼児の実態に即しているか。	○				
		(3)クラスの目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。	○				
		(4)同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。	○				
		(5)意義や趣旨を理解したチーム保育をおこなっているか。	○				
		(6)評価、資料(諸記録)を集積しているか。	○				
	保健・安全指導	(1)クラス運営に生かされるような具体的な保健対策を講じているか。	○				
		(2)避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	○				
		(3)健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発をおこなっているか。	○				
		(4)乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関などと連携を図っているか。	○				

項　目	内　　容	評　価				意見・改善策
		A	B	C	D	
研究・研修	(1)研修の計画・運営は適切か。	○				
	(2)研修・研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。	○				
	(3)研修・研究の実践による幼児理解が深まりを見せているか。	○				
	(4)各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実をはかっているか。	○				参加態勢は良いが、参加する人しない人の差があるように感じる
	(5)各種研究会、研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。	○				研修で学んだことを報告書だけではなくアウトプットする場面を作るとより学びになると思う
情報について	(1)乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取扱っているか。	○				
	(2)公文書収受、発送、処理を適切に行っているか。	○				
	(3)各票簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。	○				
保健・安全指導	(1)施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○				
	(2)遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。	○				
	(3)不審者に対する周到な配慮を行っているか。	○				まだまだ足りないと思い、来年度からは訓練を増やすことを検討している。
	(4)掲示板、掲示場所などを適切かつ効果的に活用しているか。	○				
出納経理	(1)各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○				
入所児童の人権尊重	(1)子どもの思いや意見を、はっきり言うことが出来るよう配慮し、それを尊重している。	○				
	(2)一人ひとりの子どもの心身の状態、生活習慣や文化、家庭の事情、考え方などの違いを知り、それを尊重する心を育てる。	○				
	(3)子どもの態度、服装、遊びなどで性差への先入観による固定的な対応をしないよう配慮している。	○				
	(4)日本語によるコミュニケーションが困難な保護者に対して園の意向や連絡事項が正しく伝わるよう、努力や工夫をしている。	○				翻訳アプリなどのの使用や連絡ノートも多国語への変換機能があれば良いと思います。
	(5)保育者は子どもの人権尊重を意識して保育を行っている。	○				

◎ 開かれた保育所づくり

地域の子育て家庭に対しても子育て力の向上に貢献していくことが今後の課題となりました。こども園としての専門性を地域のニーズに応じて提供し、地域に開かれたこども園としてお互いの連携や交流が求められます。

項目		内容	評価				意見・改善策
			A	B	C	D	
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携	(1)他施設との年間交流計画は、教育・保育目標や課題に沿ったものになっているか。	○				
		(2)他施設等の幼児児童施設生徒と触れあう中で乳幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことが出来るような配慮や援助・支援を行っているか。	○				
		(3)施設長同士が、打合せや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対しての理解を深め、援助について共通理解を図っているか。	○				
		(4)参観や保育・授業などに参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。	○				
		(5)日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。	○				
	家庭・地域との連携	(1)日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。	○				
		(2)保護者を含む地域の人の人材活用の時期・内容は適切か。		○			
		(3)乳幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。	○				
		(4)地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。	○				
	子育て支援の推進	(1)地域の子育て支援として、園庭や中庭、保育室などを開放しているか。	○				
		(2)地域に住む子ども同士、あるいは親子が一緒に遊ぶことが出来るような場の設定を行っているか。	○				
		(3)「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。	○				もっと保育をよりわかりやすく伝える場を検討したい。
		(4)職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。	○				見守る保育について保護者に伝える機会をもっと設けてもよいと思う。
		(5)医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り保護者にとって必要な情報を提供しているか。	○				
	情報の配信	(1)園だより・クラスだより、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	○				
		(2)行事や子育て支援事業を、地域の連絡会や児童施設小学校に対して周知しているか。	○				
	外部評価	(1)第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。	○				
		(2)地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。	○				